



市議会だより

ごとう

第58号

平成31年
2月1日発行

編集・発行
五島市議会議会広報特別委員会
五島市福江町1番1号
TEL.0959-72-7923



奈留地区



三井楽地区



富江地区



福江地区

成人式

1月4日、福江文化会館など市内6つの会場で
成人式が行われました。



玉之浦地区



岐宿地区

目次

補正予算の主な事業	P 2
一般質問	P 3～P 7
委員会審査	P 8
審査結果、賛否一覧表	P 9
行政調査、編集後記	P 10

12月定例会は、11月30日から12月19日までの20日間の日程で開催されました。開会日の11月30日に、決算14件を認定。12月5日から7日には、10名の議員が一般質問を行い、10日から17日までは、各常任委員会が開かれ、付託された議案等について審査を行い、最終日の19日に、市長提出議案の平成30年度補正予算、条例等35件を可決。

さらに、議会議案1件、陳情3件についても、それぞれ審議決定されました。

12月定例会のあらまし

補正予算の主な事業

私立保育所等施設整備事業

214万円

保育における重大事故については、睡眠中などの場面で発生しやすいことから、保育園等が事故防止のために活用できる午睡チェックセンサーなどの備品購入について支援を行う。また、認定こども園が防犯・安全対策のために実施するブロック塀撤去及びフェンス設置についても支援を行う。

農作物等有害鳥獣対策事業

635万円

イノシシ等による農作物等有害鳥獣対策については、防護柵の設置など、計画的に実施しているが、市街地においてもイノシシが目撃されている。また、8月から10月にかけて実施した生息調査の結果、小田地区周辺においてイノシシの出没が確認されていることから、市街地へのイノシシの侵入を防ぐとともに、地域住民の安心・安全な生活を守るため、小田地区周辺

の山林に防護柵を設置する。



出没がふえているイノシシ

被災農業者向け経営体育成支援事業

3千937万3千円

梅雨期における豪雨及び暴風雨により、農業被害を受けた農業者が農業経営を維持していくために必要な農産物生産・加工施設の復旧等に係る経費について、国の被災農業者向け経営体育成支援事業を活用して支援を行う。

特定空家等解体事業

134万4千円

老朽化し、危険な状態にある空き家について、保安上、景観上、衛生上及び生活環境上において、多大なる影響を招くおそれがあることから、五島市空家等対策の推進に関する条例第8条の規定に基づき、緊急安全代行措置として解体を実施する。

小・中学校空調設備整備事業

4億6千214万9千円

今夏の猛暑など、近年の厳しい気象条件に起因する健康被害の発生状況等を踏まえ、早期に子どもたちの安全と健康を守るため、熱中症対策として市内全部の小・中学校の普通教室及び特別教室に空調設備を設置する。

市保有ブロック塀撤去等事業

1千696万1千円

大阪北部地震で倒壊したブロック塀の下敷きとなった女児が死亡した事故を受け、市が保有するブロック塀の緊急点検を実施した結

果、対策が必要なブロック塀が233カ所確認された。9月以降、優先順位を検討し、順次撤去等の対策を講じているところであるが、今回の補正予算では、建築基準法上問題のあるブロック塀を中心とした23カ所について、撤去等の対策を講ずる。

漁港及び文教施設等災害復旧事業

7千3万2千円

7月の梅雨前線豪雨及び台風7号、並びに10月の台風25号により、漁港施設及び社会体育施設をはじめ各公共施設において災害が発生したことから、災害復旧工事を行う。



被害を受けた赤島漁港海岸

一般質問 市政を問う

(議員写真は西日本新聞社提供)

問 五島市の人手不足の現状と対策は

答 深刻であり、移住支援などにより人材確保に努めたい



木口 利光 議員

質問 現在、五島市は県内トップとも言える人手不足の状況である。移住者支援や高卒者定住策、外国人労働力の活用等、対策を強化すべきでは。

答弁 人手不足の深刻さは認識しているが、待遇改善競争が促され、魅力的な職場がふえることは良いことであり、事業者の取り組みに期待するとともに、市としても、引き続き人手不足解消に取り組んでいく。現在、雇用の確保と少子化対策も兼ねて、40歳未満の子育て世帯の移住に力を入れており、引っ越し費用や就職面接の旅費、奨学金返還の助成などを実施し、来年度も移住者数200名を目指している。また、高卒者についても、

平成31年度までに地元就職率50%を目指して対策を強化していく。労働力人口が減少し続ける中、外国人労働者の確保も必要となることから事業者と意見交換しながら、受け入れにも取り組みたい。



企業フェスタでの移住相談

全国学力テストの平均正答率を公表すべきでは

質問 全国学力テストの平均正答率の公表を県内多くの自治体が実施しているが、五島市も実施すべきでは。

答弁 全国平均正答率を上回ることを目標としているため、現在、全国とのポイント差のみを公表し、数値そのものは公表していない。今後、同テストの目的である教科指導の充実や学習状況の改善を第一に、過度の競争を起さない適切な効果的な結果の生かし方を教育委員や校長会とも協議しながら、前向きに検討したい。

問 東京・福岡事務所の実績は

答 観光と物産を中心に4千件以上の営業活動を実施し、実績を上げている



林 睦浩 議員

質問 五島市と首都圏のニーズをつなげ、観光客や移住者をふやすとともに、物産の販路拡大を目的に設置している東京事務所及び福岡事務所の実績は。

答弁 平成26年度の事務所設置以降、観光と物産を中心に4千件以上の営業活動を実施してきた。観



日本橋長崎館で五島をPRする
東京事務所職員

光関係では、旅行会社への営業により約80件の旅行商品造成に結びつき、民間企業や大学などへの訪問により約120件の団体旅行やスポーツ合宿誘致につながっている。また、物産関係では、首都圏や福岡を中心に百貨店、スーパー、ホテルなどと約180件の取引に結びついている。

中央公園陸上競技場改修工事の進捗状況は

質問 陸上競技場を全天候型に改修することにより、全国各地からの合宿がふえるとともに、全国レベルの大会が開催できる環境が整うことを市民も心待ちにしているが、工事は予定どおりに進んでいるのか。

答弁 年度内完成を目指し、施工業者と調整しながら工事を進めてきたが、西日本豪雨災害等の影響から特殊資材の納品におくれが生じ、1カ月程度、完成がおくれる見込みである。心待ちにしている陸上競技関係者や市民の方には御迷惑をおかけするが、よりよい陸上競技場の完成に向け工事を進めていくので御理解いただきたい。

問 スポーツ合宿誘致の取り組みは

答 スポーツ団体等への訪問活動や施設の充実などに取り組んでいる



網本 定信 議員

質問 スポーツ合宿誘致のこれまでの取り組みと今後は。

答 市外のスポーツ団体や旅行会社に直接PRする訪問活動、合宿に來られた団体へのサポート活動、スポーツ施設や設備の充実、ホームページなどによる宣伝活動を行っており、今後も継続して取り組みとともに、さらにその一つの活動を見直しながら、より効果的な取り組みにしていきたい。



スポーツ合宿を行う
パナソニック女子陸上部

観光入り込み客数26万人達成の見通しは

質問 平成31年の五島市への観光入り込み客数26万人の達成見通し及び達成に向けた取り組みは。

答 平成30年1月から10月末までの観光入り込み客数は、前年比1万8千126人増の19万8千936人で、年間では23万人を超える見通しである。目標達成は容易ではないが、世界遺産の登録効果で観光客がふえていることから、さらに旅行会社への営業に取り組みながら達成に向け努力していく。

五島市への交通アクセスの現状は

質問 本土からの交通アクセスの改善がないと、急激な観光入り込み客数の増加は見込めないと思うが、五島市への交通アクセスの現状は。

答 福江―佐世保航路が休止状態で、長崎、福岡からの定期航路、航空路が中心である。このほか、FDAのチャーター便が不定期運航されているが、給油施設がなく、静岡空港以北からの往復運航が困難なため、給油施設の設置を県へ要望している。

問 平成42年度の再生可能エネルギー自給率の見通しは

答 目標値の132.4%になると見込んでいる



橋本 憲治 議員

質問 現在、海底ケーブルの容量に余裕がなく、再生可能エネルギー施設の接続を九州電力に断られる場合が生じているが、五島市再生可能エネルギー基本構想における平成42年度自給率の目標達成の見通しは。

答 市内の再生可能エネルギー発電量は年々増加し、平成29年度は平成24年度の約2.5倍となっており、市内の消費電力のうち、再生可能エネルギーの電力が占める割合は40%を超えている。平成42年度の自給率は、目標値の132.4%になると見込んで



太陽光発電施設

おり、今後も、再生可能エネルギーの導入拡大に向けて取り組んでいく。

食肉センターの指定管理者を再選定すべきでは

質問 五島食肉センターの指定管理料については、平成24年度は1千77万円であったが、平成28年度は6千177万円と多額になっている。指定管理者を再選定すべきでは。

答 平成27年度に指定管理者の募集を行った際、応募者は現在の指定管理者のみであった。指定管理期間は、平成28年度から平成32年度までとなっており、期間内での再選定は考えていない。

資源ごみ分別作業場に日よけ設備の整備を

質問 福江リサイクルセンターの資源ごみ分別作業は屋外で行われており、夏場は非常に暑い中での作業になることから、日よけ設備の整備をすべきでは。

答 今年度、工場棟内にあった休憩スペースを移転することで、工場棟内に作業場の確保を行った。今後も、作業環境の改善に努めていきたい。

問 ジオパーク構想の現状は

答 平成31年4月の認定申請の準備を進めながら、市民へも取り組みを広げている



野口 善朗 議員

質問 地域資源を活用した交流人口拡大の取り組みとして推進しているジオパーク構想の現状は。

答弁 日本ジオパークネットワークへの準会員登録を終え、10月にジオパーク全国大会で五島列島ジオパーク構想を発表している。平成31年4月の認定申請の準備を進めながら、ジオサイト候補地を学術的観点から調査研究するとともに、出前講座やガイド講習会開催など、市民へも取り組みを広げている。

鑑瀬ビジターセンターのリニューアルは

質問 鑑瀬ビジターセンターは、設置から20年以上が経過し、展示・映像資料のリニューアルが必要ではないかと考えている。周辺には鑑瀬海岸や鬼岳など貴重な体験学習の場が広がっており、市民や

調査研究者が学習や交流、体験できる施設へと充実させてはどうか。

答弁 今後、ジオパークの拠点施設として整備したいと考えており、調査研究できる機能や展示内容について、拠点施設として整備していく中で検討していきたい。



鑑瀬ビジターセンター

港湾及び漁港の管理は

質問 港湾及び漁港について①不法投棄や漂着ごみ対策は。②廃船処理の現状は。

答弁 ①福江港周辺については、清掃や漂流ごみの対応を週1回実施しており、大雨の後の漂着ごみについても、その都度対応している。漁港内については、地元の漁業者の協力で回収している。今後、関係団体と協働し、港湾及び漁港の管理に努めたい。②漁船の廃船処理は所有者の責任で行うべきだが、処理費用が高額でなかなか進まないため、現在、費用軽減のための実証事業を実施している。

問 江神漁港から上陸し、江上天主堂を訪れている観光客の人数は

答 約4千500名と推計している



草野 久幸 議員

質問 世界遺産登録による奈留島への経済効果が小さいとの声があるが、海上タクシーで直接、江神漁港から上陸し、江上天主堂のみを訪れ、そのまま奈留島を後にしている観光客の人数は。

答弁 平成30年1月から10月末までの江上天主堂への来訪者の実績



江上天主堂

は9千543名であるが、海上タクシー事業者からの聞き取りによると、同期間中に合計24回江神漁港に着岸しており、1隻当たり約20名が乗船していることから、単純計算すると、来訪者のうち約4千500名が直接、江神漁港から上陸し、江上天主堂を訪れていると推計している。

住宅取得奨励金制度の創設を

質問 若者の地元定住を促進するため、全市民を対象とした住宅リフォーム助成制度や住宅取得奨励金制度を創設すべきでは。

答弁 現在、市民全体を対象とするリフォーム関連助成制度としては、3世代同居・近居促進事業、浄化槽設置整備事業、介護保険給付による住宅改修、日常生活用具給付事業、宿泊施設改修費補助制度がある。また、移住者が対象であった空き家バンク登録物件の改修補助制度について、12月3日から子育て世代である新婚家庭を対象に拡充したところであり、当面は空き家の有効活用を図っていきたいと考えている。

問 福江商店街にバス待合所
兼休憩スペースの設置を

答 商店街振興組合が、バス停
近くに、空き店舗を利用し
た休憩所を開放している



江川美津子 議員

質問 市民の方から、福江商店街
にバス待合所も兼ねた休憩スパー
スの設置要望があっている。中央
町公設小売市場の空き区画活用な
ど、実現に向けて検討を。

答弁 新栄町通り商店街振興組合
が、新栄町バス停近くに、空き店
舗を利用した休憩所を開放してい
る。また、商店街連盟が、トイレ
を利用できる協力店を示すマップ
を作成し、市民に広く周知すると
聞いており、ぜひ
利用して
いただき
たい。な
お、市場
について
は、実施
中の市場
活性化に



新栄町通り商店街の休憩所

向けた調査の結果を踏まえ、休憩
スペースの設置も含め、活用策を
検討していきたい。

子ども福祉医療費助成の対象
について高校卒業まで拡大を

質問 移住・定住促進の重要施策
の一つとして、多くの自治体が高
校卒業までを医療費助成の対象と
して、現物給付を実施している。

答弁 医療費については、小中学
生まで助成している。高校卒業ま
での助成拡大と現物給付の実施に
は、経常的なさらなる財源の確保
が必要となるため、現時点で市独
自での実施は非常に困難である。

長崎県市長会においても国の制度
として創設するよう要請している。

移住者向け住宅確保のため、国、
県等の職員宿舎を活用しては

質問 空き家バンクへの登録が足
りないと聞くが、移住者向けの住
宅として、国、県などの職員宿舎
の空き室を活用できないか。

答弁 県の宿舎については、短期
滞在住宅に活用しているが、国の
宿舎については、購入が条件とな
るため、活用には至っていない。

問 旧江上小学校の跡地
の利用方針は

答 文化的景観整備活用
委員会を中心に検討
を進めている



明石 博文 議員

質問 ①旧江上小学校校舎解体後
の跡地の利用方針は。②奈留島に
おける世界遺産ガイダンス施設の
整備は。

答弁 ①五島市文化的景観整備活
用委員会を中心に、文化庁や県な
どの指導を受けて、整備方針の検
討を進めており、現在、イメージ
案を取りまとめている。②奈留支
所の新庁
舎と合築
して、世
界遺産の
展示施設
を整備す
る予定で、
2021年度内
の完成に
向け準備
を進めて
いる。



解体工事中の旧江上小学校

福江―佐世保航路の復活に
ついて市の考えは

質問 福江―佐世保航路は、10月
2日から休止中であるが、地域住
民や帰省客、観光客の足として利
便性が高い航路だと考える。復活
に向けた要望活動についての市の
考えは。

答弁 平成29年5月から運航され
た同航路の平成29年度の利用者数
は約2万人と、旧五島産業汽船が
当初想定していた予測を上回って
いた。市としても、同航路の1日
も早い再開に向け、市議会と連携
して既存の運航事業者に要望して
いきたい。

東京・福岡事務所の活動状況は

質問 東京事務所、福岡事務所の
現在までの活動状況は。

答弁 平成26年度の事務所開設以
降、五島市ゆかりの方々からの紹
介で人脈を広げ、観光と物産を中
心に4千件以上の営業活動を実施
してきた。東京や福岡で開催され
るPRイベントや物産展などでは、
来場者へ五島市の魅力をダイレク
トに伝え、五島市の認知度向上を
図っている。

問 潮流発電実証事業の現状は

答 一時中断しているが円滑に実施されるよう支援していきたい



野茂勇司 議員

質問 環境省の潮流発電技術実用化推進事業については、奈留瀬戸において、平成28年度から平成31年度までの4年間で実施する計画であるが現状は。

答弁 これまで平成31年度の発電機設置に向けて、環境調査や施工方法などの検討が行われてきたが、7月に、発電機の製造を担当していたアイルランドに本社を置くオープンハイドロ社が倒産し、事業が一時中断している。環境省と事業主体である九電みらいエナジーは、事業再開に向けて、他社の発電機による実施を検討しており、年内には新たな計画案が示されるものと聞いている。市としても、実証事業が円滑に実施されるよう支援していきたいと考えている。

市道白這線道路整備事業の進捗状況は

質問 市道白這線道路整備事業の進捗状況と関連道路の整備予定は。

答弁 市道白這線道路整備事業については、改良工事が完了し舗装工事も発注済みで、平成31年3月末の完成予定である。また、関連道路の整備については、奈留医療センター横の交差点改良を計画している。現在、改良予定地の登記調査中で、調査終了後に用地測量に入り、登記完了後の工事着手予定となっている。



奈留医療センター横交差点

問 防災士及び防災リーダー育成に対する考えは

答 防災リーダー養成講座の五島市開催を県に要望している



片峰 亨 議員

質問 災害時に確実な判断、誘導を行い、混乱などを緩和するということの意味でも、防災士や防災リーダーの役割は極めて重要であり、育成が必要だと思うが市の考えは。

答弁 防災士は、防災に関する知識や技術を身につけ、地域や職場の防災力の向上に貢献することを目的として、日本防災士機構が認



防災士による市民への防災講話

証する民間の資格である。毎年、県が実施している防災リーダーの養成講座を受講することで、防災に関する知識や技術を身につけることができ、受講後には防災士の試験を受験できる資格も付与されるようになっていく。現在、この養成講座及び引き続き実施される防災士の資格取得試験を五島市で開催してもらえよう県に要望しているところであり、多くの人に防災士や防災リーダーとなってい

岐宿診療所の早期再開を

質問 岐宿診療所は民間移譲した施設であるが、休診してから既に3年以上が経過し、周辺地区の住民からは早期の診療再開を望む声が上がっている。市としては、診療再開に向けてどのように考えているのか。

答弁 医師と面会を重ねているところで、診療再開について前向きな話も伺っているが、残念ながら現在まで、診療所は休診の状態となっている。引き続き先生と協議を重ね、医師会の協力も得ながら、再開に向けてお願いしていきたい。

委員会 分科会 の審査

総務委員会

予算 防犯カメラ設置事業

145万8千円

問 事業の内容は。

答 田ノ浦港及び奈留ターミナルビルについて、世界遺産登録により、島外からの観光客を含め利用者の増加が見込まれることから、犯罪の抑止力を高め、安全で安心なまちづくりの推進を図るため、田ノ浦港栈橋前に1台、奈留ターミナルビルについてはフェリー等の乗り場ごとに岸壁側及び浮栈橋側に各1台、計3台の防犯カメラを設置する。

文教厚生委員会

議案第135号 デイサービスセンターの指定管理者の指定について

提案理由

指定管理期間が平成31年3月31日で満了する岐宿デイサービスセンターについて、平成31年4月からの指定管理者を指定

したいため。

問 岐宿デイサービスセンターの指定期間が、他の施設と異なり、平成32年3月31日までの1年間と短くなっている理由は。

答 岐宿デイサービスセンターについては、平成30年度末の指定期間満了を機に、土地を含めて民間移譲を検討していたが、同センターが、岐宿福祉センターと併設された特異な構造であることや、敷地内に岐宿生活支援ハウスふれあいの里及び八朔団地の一部が建設されていることから、岐宿福祉センター廃止による建物の一元化及び土地の確定測量と分筆を平成31年度中に行い、平成32年度に民間移譲したため、指定の期間を平成31年度末までとしている。



岐宿デイサービスセンター

算小・中学校空調設備整備事業

4億6千214万9千円

問 空調設備の設置場所は。

答 基本的には、市内全ての普通

教室及び一部の特別教室に設置する計画である。特別教室については、設置後のランニングコストを抑えることも重要な課題となることから、理科室、音楽室のほか、1学年当たりの平均児童生徒数が一定数以上である学校の図書室を予定している。

問 空調設備の発注方法は。

答 電気工事と備品購入について分離発注するほか、市内業者に広く受注の機会をふやすため、それぞれを幾つかに分割して発注したいと考えている。

経済土木委員会

議案第129号 五島市単独住宅管理条例の一部改正について

提案理由 築年数が30年以上経過し、老朽化が著しい月見住宅1号

ほか10戸を廃止したいため。

問 廃止後の住宅の取り扱い。

答 現在全て空き家となっており、廃止後は、まずは市役所内で活用する部署がないか確認し、その後、買い手がいないか一般公募したいと考えている。



富江地区の月見住宅1号

議案第130号 五島市空家等対策の推進に関する条例の一部改正について

提案理由

市が実施する緊急安全代行措置について、やむを得ない事由により所有者等の同意が得られない場合は、同意を得ずに当該措置を行えることとしたため。

問 緊急安全代行措置の対象となる基準は。

答 壁がはがれ飛散するなど、客観的に周辺住民の生活に支障を来すおそれがあるものについて、周辺住民の意見も聞きながら総合的に勘案して判断していきたい。

審査結果

議案番号	件名	審査結果	議案番号	件名	審査結果
議案第106号	平成29年度五島市一般会計歳入歳出決算	認定	議案第131号	過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第107号	平成29年度五島市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第132号	前島地区集会室の指定管理者の指定について	原案可決
議案第108号	平成29年度五島市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第133号	生活館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第109号	平成29年度五島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	議案第134号	布浦集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第110号	平成29年度五島市診療所事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第135号	デイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第111号	平成29年度五島市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第136号	生活支援ハウス及び高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第112号	平成29年度五島市大浜財産区特別会計歳入歳出決算	認定	議案第137号	貝津老人憩の家の指定管理者の指定について	原案可決
議案第113号	平成29年度五島市本山財産区特別会計歳入歳出決算	認定	議案第138号	岐宿墓地の指定管理者の指定について	原案可決
議案第114号	平成29年度五島市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第139号	玉之浦地区集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第115号	平成29年度五島市公設小売市場事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第140号	丹奈集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第116号	平成29年度五島市港湾整備事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第141号	営農研修施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第117号	平成29年度五島市交通船事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第142号	里集落センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第118号	平成29年度五島市土地取得事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第143号	漁村センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第119号	平成29年度五島市水道事業会計剰余金の処分及び決算	原案可決及び認定	議案第144号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第120号	五島市火災予防条例の一部改正について	原案可決	議案第145号	和解及び損害賠償の額の決定について	原案可決
議案第121号	五島市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について	原案可決	議案第146号	平成30年度五島市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第122号	五島市岐宿福祉センター条例の廃止について	原案可決	議案第147号	平成30年度五島市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第123号	五島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部改正について	原案可決	議案第148号	平成30年度五島市診療所事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第124号	五島市デイサービスセンター条例の一部改正について	原案可決	議案第149号	五島市職員の給与に関する条例及び五島市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第125号	五島市玉之浦花き栽培施設条例の廃止について	原案可決	議案第150号	五島市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第126号	本山財産区管理条例の一部改正について	原案可決	議案第151号	五島市議会議員の議員報酬、費用弁償等支給条例の一部改正について	原案可決
議案第127号	大浜財産区管理条例の一部改正について	原案可決	議案第152号	工事請負契約の変更について	原案可決
議案第128号	五島市手数料条例の一部改正について	原案可決	議案第153号	平成30年度五島市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第129号	五島市単独住宅管理条例の一部改正について	原案可決	議案第154号	平成30年度五島市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第130号	五島市空家等対策の推進に関する条例の一部改正について	原案可決	議会議案第4号	「後期高齢者の窓口負担の見直し」に当たり、原則1割負担の継続を求める意見書	原案可決
			陳情第3号	「後期高齢者の窓口負担の見直し」にあたり、原則1割負担の継続を求める意見書採択に関する陳情	結 審
			陳情第4号	国に対し「消費税率10%への引き上げ中止を求める意見書」の提出を求める陳情	結 審
			陳情第5号	五島市特殊勤務手当に関する条例改定に関する陳情	結 審

賛否一覧表 ○：賛成 ×：反対 -：欠席

会派・議員名 議案番号	創 政 自 民 党										市民ネットワーク		政策会		日本共産党		公明会	ごとう改革21	心風会
	明石博文	荒尾正登	木口利光	清川久義	神之浦伊佐男	宗藤人	野口善朗	野茂勇司臣	林睦浩	村岡末男	網本定信	草野久幸	片峰亨	古川雄一	江川美津子	橋本憲治	相良尚彦	山田洋子	三浦直人
議案第106号～第108号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	-
議案第109号～第119号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第120号～第154号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	-
議会議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	-

会派による行政調査を実施

10月から11月にかけて、先進地の行政調査を各会派が次のとおり実施しました。

市民ネットワーク 日本共産党

市民ネットワークと日本共産党は、10月8日から11日の4日間で、富山県下新川郡朝日町、石川県七尾市及び輪島市を訪れ、「移住・定住支援策」、「空家等対策計画」、「事業承継への支援」、「スポーツ合宿のメッカづくり」、「防災組織及び防災士の育成」について、調査を行いました。

政策会

政策会は、10月14日から16日の3日間で、宮城県気仙沼市と東京都港区を訪れ、「震災復興」及び「防災対策」について、調査を行いました。

創政自民党

創政自民党は、11月6日から9日の4日間で、静岡県御殿場市及び藤枝市を訪れ、「移住・定住促進事業の取り組み」、「藤田観光アウトドアグランピング藤乃煌ー富士御殿場」について、調査を行いました。



御殿場市での調査

☆表紙の題字
「市議会だより」は、



五島海陽高三年
山本美玖

さんの作品です。

☆表紙の題字
「ごとう」は、



本山六年
窄大和

さんの作品です。

3月定例会は2月28日(木)開会予定です。

インターネット議会中継

本会議の生中継、平成22年6月定例会以降の本会議の映像を見ることができます。

<http://www.goto-city.stream.jfit.co.jp/>



議会広報特別委員会

編集後記

2019年は、多くの国民が長年親しんだ「平成」の年号に別れを告げ、新時代の幕開けとなる1年です。昨年の五島市は、念願であった「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録が成就するとともに、国境離島新法と市の移住者支援策の相乗効果により、人口減少に一定の歯止めがかかるという、後世に語り継がれるべき1年となりました。私ども市議会議員もこの追い風をと

らえ、市の活性化のため必要な役割を果たしていかなばなりません。さて五島市議会においては、この2月が議員任期の折り返しとなり、議会広報特別委員会においても、この2月1日発行の第58号が現委員での最後の発行となります。市議会だよりは、市民の皆様に議会情報をわかりやすく伝える貴重なツールだと考えております。今後とも議会広報特別委員会に對しまして、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。(木口利光)